

海面漁業調査の結果概要

1 漁業経営体の動向

平成25年11月1日現在における鶴岡市の漁業経営体数は198で、前回調査（平成20年第12次漁業センサス、以下「前回」という。）と比較して28経営体（12.4%）減少した。

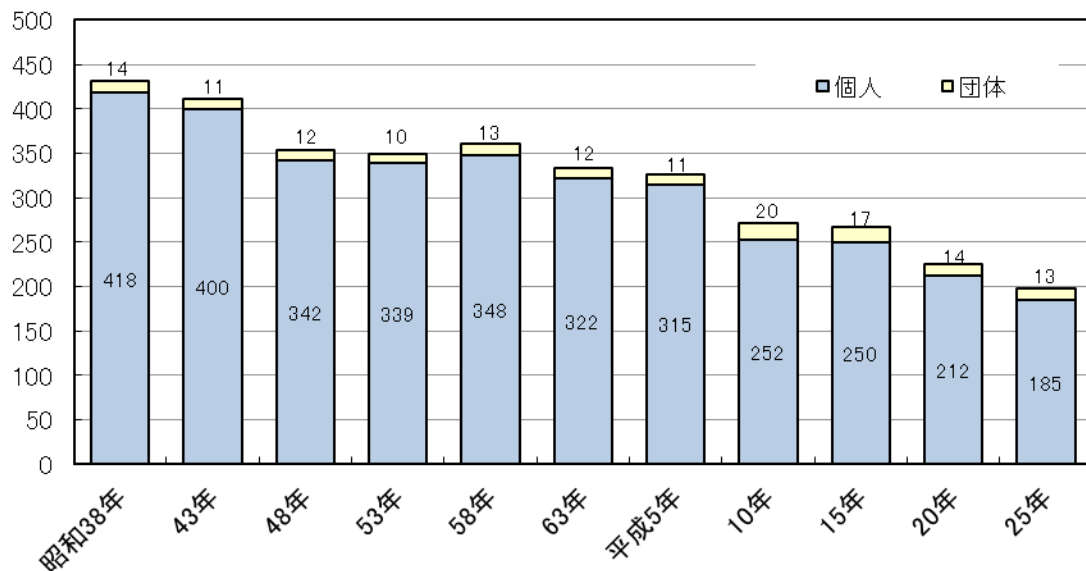
経営組織別に内訳をみると、経営体の大半を占める「個人」が185で前回と比較して27（12.7%）減少した。

表1 経営組織別漁業経営体数

経営組織	経営体数										
	昭和38年	43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	25年
総数	432	411	354	349	361	334	326	272	267	226	198
個人	418	400	342	339	348	322	315	252	250	212	185
団体	14	11	12	10	13	12	11	20	17	14	13
会社	3	4	4	3	4	4	2	4	3	3	3
漁業協同組合	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漁業生産組合	-	1	2	2	2	5	1	-	3	2	-
共同経営	8	4	4	3	4	1	6	13	8	8	9
その他	2	2	2	2	3	2	2	3	3	1	1

経営組織	増減率(%)										
	昭和43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	25年	
総数	-4.9	-13.9	-1.4	3.4	-7.5	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4	-12.4	
個人	-4.3	-14.5	-0.9	2.7	-7.5	-2.2	-20.0	-0.8	-15.2	-12.7	
団体	-21.4	9.1	-16.7	30.0	-7.7	-8.3	81.8	-15.0	-17.6	-7.1	
会社	33.3	0.0	-25.0	33.3	0.0	-50.0	100.0	-25.0	-	-	
漁業協同組合	皆減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
漁業生産組合	皆増	100.0	0.0	0.0	150.0	-80.0	皆減	皆増	-33.3	皆増	
共同経営	-50.0	-	-25.0	33.3	-75.0	500.0	116.7	-38.5	-	12.5	
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	-33.3	0.0	50.0	0.0	-66.7	0.0	

図1 個人・団体別経営体数の推移



2 漁業地区別漁業経営体

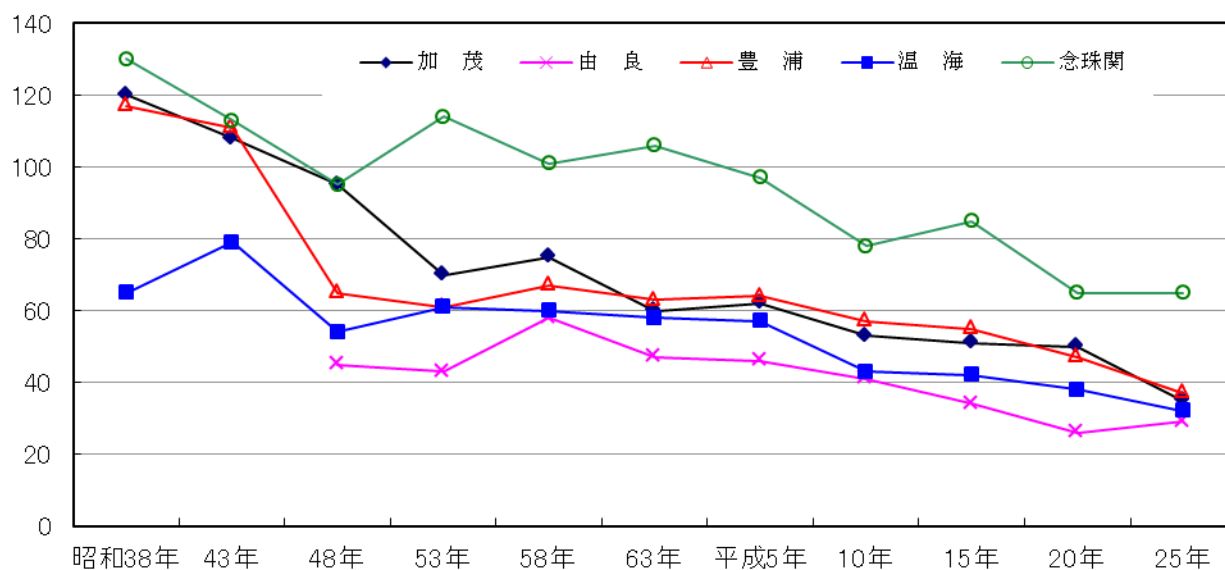
漁業地区別に比較してみると、加茂、豊浦の減少幅が大きく、それぞれ 30.0%減、21.3%減となっている。対して、前回減少幅が大きかった由良は 11.5%増となり、念珠関も増減なしとなった。

表 2 漁業地区別漁業経営体数

漁業地区	経営体数										
	昭和38年	43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	25年
総 数	432	411	354	349	361	334	326	272	267	226	198
加 茂	120	108	95	70	75	60	62	53	51	50	35
由 良	} 117	} 111	45	43	58	47	46	41	34	26	29
豊 浦			65	61	67	63	64	57	55	47	37
温 海	65	79	54	61	60	58	57	43	42	38	32
念珠関	130	113	95	114	101	106	97	78	85	65	65

漁業地区	増減率(%)									
	昭和43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	25年
総 数	-4.9	-13.9	-1.4	3.4	-7.5	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4	-12.4
加 茂	-10.0	-12.0	-26.3	7.1	-20.0	3.3	-14.5	-3.8	-2.0	-30.0
由 良	} -5.1	} -0.9	-4.4	34.9	-19.0	-2.1	-10.9	-17.1	-23.5	11.5
豊 浦			-6.2	9.8	-6.0	1.6	-10.9	-3.5	-14.5	-21.3
温 海	21.5	-31.6	13.0	-1.6	-3.3	-1.7	-24.6	-2.3	-9.5	-15.8
念珠関	-13.1	-15.9	20.0	-11.4	5.0	-8.5	-19.6	9.0	-23.5	-

図 2 地域別漁業経営体数の推移



注) 昭和 38 年, 43 年の豊浦は由良を含む。

3 漁業層別漁業経営体

漁業層（漁業種類と使用漁船の規模による分類）別にみると、「沿岸漁業（※1）層」が経営体数 178（構成比 89.9%）、漁船隻数 250 隻（構成比 87.8%）と大部分を占めているが、動力船総トン数は 290.4 トン（構成比 37.0%）と割合は低くなっている。

一方、「中小漁業（※2）層」は経営体数 20（構成比 10.1%）、漁船隻数 35 隻（構成比 12.3%）と割合は低いものの、動力船総トン数は 494.6 トン（構成比 63.0%）と多数を占め、新規就労者数でも 3 人（構成比 75.0%）と沿岸漁業層の 1 人（構成比 25.0%）を上回っている。

※1 「沿岸漁業」…漁船を使用しないで行う漁業、無動力船を使用して行う漁業、10 トン未満の動力船を使用して行う漁業、定置網漁業、地引き網漁業をいう。

※2 「中小漁業」…10 トン～1000 トン未満の動力船を使用して行う漁業をいい、1000 トン以上の動力船を使用して行う漁業は「大規模漁業」という。

表 3 漁業層別の構成

漁業層	経営体数	漁船隻数	動力船総トン数	11月1日現在の 海上作業従事者数	新規就業者
総 数	198	285	785.00	315	4
沿 岸 漁 業 層	178 (89.9)	250 (87.7)	290.4 (37.0)	249 (79.0)	1 (25.0)
中 小 漁 業 層	20 (10.1)	35 (12.3)	494.6 (63.0)	66 (21.0)	3 (75.0)
大 規 模 漁 業 層	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

注) () 内の数値は構成比(%), 差率(%)

表 4 漁業層別経営体数の推移

漁業層	経営体数					増減率(%)			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総 数	326	272	267	226	198	-16.6	-1.8	-15.4	-12.4
沿 岸 漁 業 層	303	247	245	206	178	-18.5	-0.8	-15.9	-13.6
中 小 漁 業 層	23	25	22	20	20	8.7	-12.0	-9.1	0.0
大 規 模 漁 業 層	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4 経営体階層別漁業経営体

漁業経営体について、使用漁船の規模等により分類した階層別にみると、「動力船使用」で「1 トン未満」が前回に比べ微増し、「10 トン以上 20 トン未満」、「100 トン以上 200 トン未満」は前回と同数であったが、その他の階層では減少しており、全体でも 28 経営体（12.7%）の減少となった。

表5 経営体階層別経営体数

経営体階層	経営体数					増減率(%)			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総数	326	272	267	226	198	-16.6	-1.8	-15.4	-12.4
小型定置網	6	4	3	4	4	-33.3	-25.0	33.3	0.0
海面養殖	-	2	1	2	1	皆増	-50.0	100.0	-50.0
漁船非使用	-	-	-	-	1	-	-	-	-
漁船使用(計)	320	266	263	220	192	-16.9	-1.1	-16.3	-12.7
無動力船使用	6	2	2	-	-	-66.7	0.0	皆減	-
船外機付漁船	-	-	-	109	102	-	-	皆増	-6.4
動力船使用(計)	314	264	261	111	90	-15.9	-1.1	-57.5	-18.9
1トン未満	144	119	128	3	4	-17.4	7.6	-97.7	33.3
1以上～3未満	116	95	82	58	39	-18.1	-13.7	-29.3	-32.8
3～5未満	19	19	19	21	20	0.0	0.0	10.5	-4.8
5～10未満	12	6	10	9	7	-50.0	66.7	-10.0	-22.2
10～20未満	17	20	18	18	18	17.6	-10.0	0.0	0.0
20～30未満	1	-	-	-	-	皆減	-	-	-
30～50未満	1	-	-	-	-	皆減	-	-	-
50～100未満	2	1	1	-	-	-50.0	0.0	皆減	-
100～200未満	-	3	2	2	2	皆増	-33.3	0.0	0.0
200～500未満	2	1	1	-	-	-50.0	0.0	皆減	-
500～1000未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1000～3000未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3000トン以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※平成15年調査までは動力船使用の1トン未満に船外機付漁船が含まれていたが、20年からは別集計になっている。

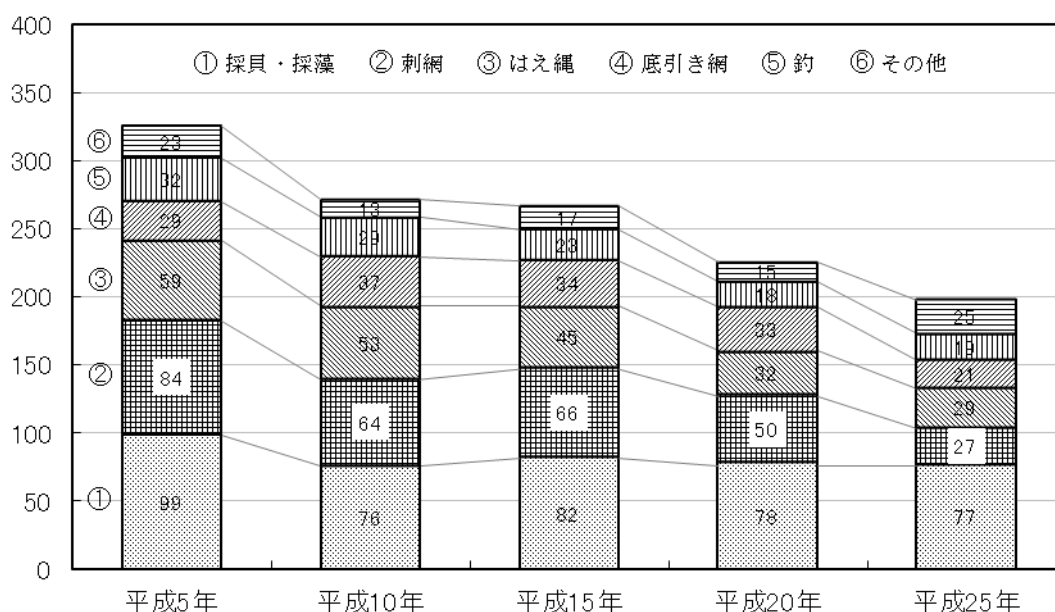
5 主とする漁業種類別経営体

漁業経営体を主とする漁業種類別にみると、「採貝・採藻」が77（構成比38.9%）、「はえ縄」が29（構成比14.6%）と前回と同様の数であったが、「刺網」が前回から46.0%減の27（構成比13.6%）へと数を減らした。

表6 主とする漁業種類別経営体数

主とする 漁業種類	経営体数					増減率(%)				構成比(%)			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総数	326	272	267	226	198	-16.6	-1.8	-15.4	-12.4	100.0	100.0	100.0	100.0
底びき網	29	37	34	33	21	27.6	-8.1	-2.9	-36.4	13.6	12.7	14.6	10.6
刺網	84	64	66	50	27	-23.8	3.1	-24.2	-46.0	23.5	24.7	22.1	13.6
小型定置網	6	4	3	4	4	-33.3	-25.0	33.3	0.0	1.5	1.1	1.8	2.0
はえ縄	59	53	45	32	29	-10.2	-15.1	-28.9	-9.4	19.5	16.9	14.2	14.6
釣	32	29	23	18	19	-9.4	-20.7	-21.7	5.6	10.7	8.6	8.0	9.6
船びき網	14	4	4	2	7	-71.4	0.0	-50.0	250.0	1.5	1.5	0.9	3.5
採貝	93	70	77	78	77	-24.7	10.0	-4.9	-1.3	25.7	28.8	34.5	38.9
採藻	6	6	5			0.0	-16.7			2.2	1.9		
海面養殖	-	2	1	2	1	皆増	-50.0	100.0	-50.0	0.7	0.4	0.9	0.5
その他	3	3	9	7	13	0.0	200.0	-22.2	85.7	1.1	3.4	3.1	6.6

図3 主とする漁業種類別経営体数



6 経営組織別漁業経営体の状況

経営組織別にみると、「個人」が大半を占め、「会社」は加茂、豊浦、念珠関に各1経営体のみである。

表7 漁業地区・経営組織別経営体数

漁業地区	経営体数				構成比 (%)			
	総数	個人	会社	その他	総数	個人	会社	その他
総数	198	185	3	10	100.0	93.4	1.5	5.1
加茂	35	32	1	2	17.7	16.2	0.5	1.0
由良	29	27	-	2	14.6	13.6	-	1.0
豊浦	37	33	1	3	18.7	16.7	0.5	1.5
温海	32	30	-	2	16.2	15.2	-	1.0
念珠関	65	63	1	1	32.8	31.8	0.5	0.5

7 専業別の個人経営体

個人経営体を専業・兼業別にみると、「専業」は54で前回より13(19.4%)、兼業は131で14(9.7%)それぞれ減少した。

兼業の内訳では、「自営漁業が主」は84で10(13.5%)増加し、「自営漁業が従」は47で24(33.8%)減少した。

営んだ兼業の種類別では、「自営漁業が主」「自営漁業が従」とともに「勤め」が最も多く、「自営漁業が主」では72(構成比85.7%)、「自営漁業が従」では38(構成比80.9%)となった。

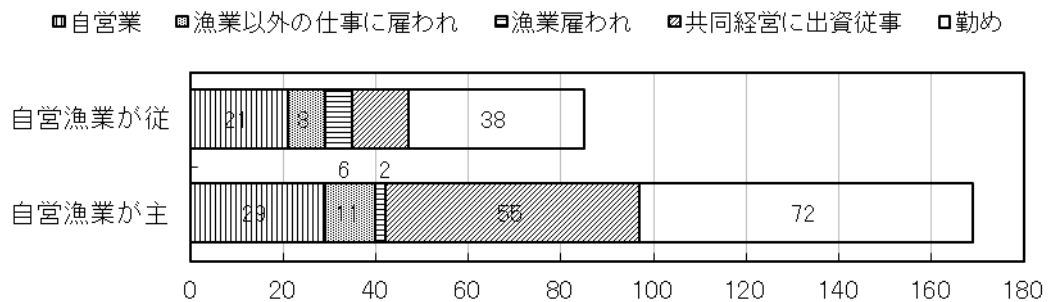
表 8 専兼業別個人経営体の推移

経営組織	個人経営体数					増減率(%)				構成比(%)			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総 数	315	252	250	212	185	-20.0	-0.8	-15.2	-12.7	100.0	100.0	100.0	100.0
専 業	39	32	60	67	54	-17.9	87.5	11.7	-19.4	12.7	24.0	31.6	29.2
兼 業	276	220	190	145	131	-20.3	-13.6	-23.7	-9.7	87.3	76.0	68.4	70.8
自営漁業が主	116	110	75	74	84	-5.2	-31.8	-1.3	13.5	43.7	30.0	34.9	45.4
自営漁業が従	160	110	115	71	47	-31.3	4.5	-38.3	-33.8	43.7	46.0	33.5	25.4

表 9 営んだ兼業種類別個人経営体数

兼業の種類	兼業の個人経営体数		自営漁業が主		自営漁業が従	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
総 数	131	100.0	84	100.0	47	100.0
自 営 業	59	45.0	32	38.1	27	57.4
水産加工業	-	0.0	-	0.0	-	0.0
民宿	3	2.3	2	2.4	1	2.1
遊漁船業	20	15.3	14	16.7	6	12.8
その他	24	18.3	10	11.9	14	29.8
勤 め	110	84.0	72	85.7	38	80.9
共同経営に出資従事	67	51.1	55	65.5	12	25.5
漁業雇われ	8	6.1	2	2.4	6	12.8
漁業以外の仕事に雇われ	19	14.5	11	13.1	8	17.0

図 4 営んだ兼業種類別個人経営体の構成比



8 漁船の規模別隻数

漁業経営体が使用した漁船は 285 隻で、前回より 61 隻 (17.6%) 減少した。船外機付船が 184 隻と、全漁船の 64.6% を占めている。

表 10 漁船の規模別隻数の推移

漁船規模	隻数 (隻)					増減率 (%)				構成比			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総数	376	307	389	346	285	-18.4	26.7	-11.1	-17.6	100.0	100.0	100.0	100.0
無動力船	9	2	5	-	-	-77.8	150.0	皆減	-	0.7	1.3	-	-
船外機付船	183	141	230	222	184	-23.0	63.1	-3.5	-17.1	45.9	59.1	64.2	64.6
動力船	184	164	154	124	101	-10.9	-6.1	-19.5	-18.5	53.4	39.6	35.8	35.4
1トン未満	1	9	8	3	4	800.0	-11.1	-62.5	33.3	2.9	2.1	0.9	1.4
1以上～3未満	122	99	90	64	42	-18.9	-9.1	-28.9	-34.4	32.2	23.1	18.5	14.7
3～5未満	19	21	22	25	20	10.5	4.8	13.6	-20.0	6.8	5.7	7.2	7.0
5～10未満	13	8	10	10	12	-38.5	25.0	-	20.0	2.6	2.6	2.9	4.2
10～20未満	20	22	20	20	21	10.0	-9.1	-	5.0	7.2	5.1	5.8	7.4
20～30未満	-	-	-	-	-	1.0	2.0	3.0	-	-	-	-	-
30～50未満	1	-	-	-	-	皆減	-	-	-	-	-	-	-
50～100未満	2	1	1	-	-	-50.0	-	皆減	-	0.3	0.3	-	-
100～200未満	2	3	2	2	2	50.0	-33.3	-	-	1.0	0.5	0.6	0.7
200～500未満	1	1	1	-	-	-	-	皆減	-	0.3	0.3	-	-
500トン以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9 年齢及び男女別漁業就業者

漁業就業者は 261 人で、前回より 54 人 (17.1%)、20 年前の半数にまで減少している。

年齢別にみると、「60 歳以上」は 162 人 (構成比 62.1%)、さらに、「65 歳以上」が漁業就業者の 43.7% を占めるなど、高齢者が全体に占める割合は高止まりの状況が続いている。

表 11 性別、年齢別漁業就業者数の推移

年齢	漁業就業者数 (人)					増減率 (%)				構成比 (%)			
	平成5年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年	10年	15年	20年	25年
総数	537	481	424	315	261	-10.4	-11.9	-25.7	-17.1	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	-	2	5	3	-	皆増	150.0	-40.0	皆減	0.4	1.2	1.0	-
20～29歳	18	23	22	22	22	27.8	-4.3	0.0	0.0	4.8	5.2	7.0	8.4
30～39歳	37	37	26	23	23	0.0	-29.7	-11.5	0.0	7.7	6.1	7.3	8.8
40～49歳	87	68	47	17	29	-21.8	-30.9	-63.8	70.6	14.1	11.1	5.4	11.1
50～59歳	144	91	82	54	25	-36.8	-9.9	-34.1	-53.7	18.9	19.3	17.1	9.6
60歳以上	251	260	242	196	162	3.6	-6.9	-19.0	-17.3	54.1	57.1	62.2	62.1
うち65歳以上	150	174	185	157	114	16.0	6.3	-15.1	-27.4	36.2	43.6	49.8	43.7
男	536	477	418	308	253	-11.0	-12.4	-26.3	-17.9	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	-	2	5	3	0	皆増	150.0	-40.0	-100.0	0.4	1.2	1.0	0.0
20～29歳	18	23	22	22	22	27.8	-4.3	0.0	0.0	4.8	5.3	7.1	8.7
30～39歳	37	37	26	23	23	0.0	-29.7	-11.5	0.0	7.8	6.2	7.5	9.1
40～49歳	87	67	45	15	28	-23.0	-32.8	-66.7	86.7	14.0	10.8	4.9	11.1
50～59歳	143	89	81	52	23	-37.8	-9.0	-35.8	-55.8	18.7	19.4	16.9	9.1
60歳以上	251	259	239	193	157	3.2	-7.7	-19.2	-18.7	54.3	57.2	62.7	62.1
うち65歳以上	150	174	183	155	111	16.0	5.2	-15.3	-28.4	36.5	43.8	50.3	43.9
女	1	4	6	7	8	300.0	50.0	16.7	14.3	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	-	1	2	2	1	皆増	100.0	0.0	-50.0	25.0	33.3	28.6	12.5
50～59歳	1	2	1	2	2	100.0	-50.0	100.0	0.0	50.0	16.7	28.6	25.0
60歳以上	-	1	3	3	5	皆増	200.0	0.0	66.7	25.0	50.0	42.9	62.5
うち65歳以上	-	-	2	2	3	-	皆増	0.0	50.0	-	33.3	28.6	37.5

図5 年齢別漁業就業者数の推移

